

2. 第 2 次総合戦略策定の必要性と方針

(1) 第 2 次総合戦略策定の必要性

令和元年 6 月 21 日閣議決定された「まち・ひと・しごと創生基本方針」において、「地方においても、国の「総合戦略」を勘案し、地方創生の充実・強化に向け、切れ目ない取組を進めることが求められることから、各地方公共団体においては、現行の「地方版総合戦略」を検証し、次期「地方版総合戦略」の策定を進める必要がある」とされました。

本市としても、人口が社会増になるなどこれまでの種々の取組の成果が少しずつ出始めた良い流れを確固たるものにすべく、今後の本市の人口減対策、地方創生の方針を第 2 次総合戦略に示し、全市を挙げて取り組むこととします。

(2) 第 2 次総合戦略の方針

第 1 次総合戦略では、同時期に策定された「総合計画」との整合を図ることを強く意識するあまり、「総合計画」と同じテーマを掲げ、「総合計画」で挙げた取組を漏れのないように取り上げたため、結果として総花的な印象になったことは否めず、取組が「総合戦略」で掲げた数値目標の達成にどう結び付くのか明確になっていませんでした。

その反省を踏まえ、第 2 次総合戦略では、本市の人口減対策、地方創生に向けた取組の特徴を表すキーワードを打ち出し、第 2 次総合戦略に掲げた取組が、出生率の改善、若者の流出抑止、UI ターンの促進にどのように結び付くかを明確に示すこととします。

また、SDGs、Society5.0 など新しい考え方を取り入れ、新しい時代の流れを力にした総合戦略にしていきたいと思います。

<第 2 次総合戦略策定の目的>

今後も、安芸高田らしさを維持しながら 持続的に発展していける姿を示す

①安芸高田らしさ

安芸高田市の魅力・強み

- ・大都市近郊にありながら、自然豊かな環境である
- ・この地域にしかない独特の歴史・文化がある

安芸高田市の魅力・強みを
持続可能なものにする

②持続的に発展していける

地域を持続可能にするため、必要な担い手を継続的に確保する

- ・地域の誰もが活躍できる環境をつくる
- ・地域の若手など、担い手候補の育成・支援をする
- ・地域の担い手になる人を市外から入れる

地域を持続可能にするため
の取組の方向性

- 「持続可能な地域をつくる」「地域の誰もが活躍できる（誰 1 人取り残さない）環境をつくる」ことをテーマに、SDGs（持続可能な開発目標）の理念を取り入れた総合戦略とする。
- 課題の解決に、Society5.0 の時代に即した新たな技術を活用することに積極的に取り組む。

第2次まち・ひと・しごと創生総合戦略の全体像

【第2次総合戦略策定の目的】

今後も、安芸高田らしさを維持しながら、持続的に発展していける姿を示す

○SDGsの理念を通じて、豊かで活力のある未来をつくる



【SDGsの理念】

誰もが置き去りにされることのない、持続可能で多様性のある社会を実現する

- ・誰もが安心して住み続けられる環境をつくる
- ・地域の活動・営みを持続可能にする
- ・安芸高田市らしさをつくる魅力を持続可能にする
- ・資源循環、経済循環の「環」をつくる

○課題解決に、Society5.0の時代に即した新たな技術を活用する

人をつなげる

生き活きた活動を支援する

市民・事業者の活動を持続可能にする

- 農業、工業、地域活動、伝統芸能を持続可能にするための支援策
- 担い手の確保⇒移住定住の推進、外国人材の活用、若手の育成

若者と地域をつなげる

地域ぐるみで若者を応援し、若者と地域の関わりをつくる

- 高校生×地域の事業者⇒将来のUターン
- 新入社員×新入社員×地域⇒市内に定住⇒将来の地域の担い手

本市で挑戦を始める人を応援する

地域ぐるみで挑戦する人を応援し、地域の新たな担い手をつくる

- 移住、農業、起業、二拠点居住など新しい挑戦をする人の支援策
- 企業版ふるさと納税など、本市を外から応援する仕組みの積極活用

地域の活動を持続可能にする

循環の「環」をつなげる

地域に循環の「環」をつくる

中山間地の環境を活かした資源循環の形をつくる

- 里山・森林・農業・畜産業の資源循環を進め、持続可能に
- 廃棄物の資源化の推進
- 自然エネルギー、再生エネルギーの利用推進

地産地消を進め、地域の収入が市外に流出するのを抑える

- 道の駅等を拠点とした、地産地消の推進

ここにしかない歴史・文化を未来につなげる

「この地域ならではの」を磨き、伝える

安芸高田市らしさを形づくる魅力をさらに高め、市内外に広く伝える

- 民泊等で、自然の中で暮らすライフスタイルの魅力を伝え、新たな観光資源に
- 毛利氏遺跡、神楽など、本市の観光のキーコンテンツをさらに楽しめるよう充実

「この地域ならではの」を楽しむ基盤をつくる

安芸高田市の魅力を日本人のみならず外国人にも楽しんでもらう基盤を整える

- 公共交通機関で来訪、周遊できる仕組み
- 言葉の壁を超えるおもてなしと、案内表示
- Wi-Fi等の情報・通信インフラの整備

地域の魅力を持続可能にする

安心して住み続けられる環境をつくる

誰もが置き去りにされなく住み続けられる基盤をつくる

- 安全・安心な地域(生活支援員制度、自主防災組織) 医療のセーフティネットの維持(24時間救急体制、AI 診療の活用)
- 安心して子育てできる環境(24時間保育、高校までの医療費減免) 外国人も安心して暮らせる環境(相談体制の充実、企業ぐるみ・地域ぐるみの受け入れ体制)
- 高齢者も障害者も活躍できる環境(就労支援、農福連携)